### (社会人部門)

### W GIPの源流と後遺症

### 高橋し 麗澤大学大学院特任教授・モラロジー研究所教授 史し 頭き

1

はじめに





240万頁に及ぶCIE文書の1枚に約80頁の資料が収められているマ 拙著『検証 狂わせた洗脳工作―いまなお続く占領軍の心理作戦』 イクロフィッシュ3万枚の中の2枚に収められている) 文書の中の39頁(明星大学戦後教育史研究センターが保管している、 で紹介した。これはGHQ文書に含まれているCIE(民間情報教育局) 前に出版した。 いて書いたものである。 ・ルト・インフォメーション・プログラム)については、20年以上前 か』(東洋経済新報社)、『歴史の喪失』(総合法令出版)の3冊の著書 本人に戦争犯罪意識を刷り込む情報作戦計画・WGIP(ウォー 戦後教育』(モラロジー研究所)、『歴史教育はこれでよい この原史料に基づいて関野通夫氏は『日本人を (自由社)を3年 の原史料に基づ 約

をしていた1980年頃のWGIPに関する研究は、 、リカに留学してワシントンDCの郊外にあった米国立公文書館別館や リーランド州立大学のプランゲ・コレクションの検閲文書の調査研究 占領軍の検閲と戦後日本』 WGIPについて最初に取り上げたのは江藤淳 (文春文庫) であるが、 『閉ざされた言語空間 江藤氏と筆者がア 当時の文書公開の

> と今日への影響を含む全体像を捉えられなかった点に限界があった。 戦略との連続性の中でWGIPを位置付けられず、またWGIPの源流 制約からこの39頁のCIE文書の原史料に限定されており、米対日心

が創設した「日本労農学校」の校長として実践した、 明らかになり、 号を解読したヴェノナ文書等の公開によって、ソ連の工作員・協力者が 教育がWGIPのモデルとなったことが判明した。 と人民・兵士を区別する」毛沢東の基本方針に従い、毛沢東の この日本兵捕虜の洗脳教育の成果は、中国が2014年にユネスコ「世 英国立公文書館所蔵の機密文書 コミンテルンの日本代表であった野坂参三が (注1) や英米の情報機関がソ連の暗 日本兵捕虜の洗脳 「軍国主義 八路軍

略諜報局)の文書、OWIの外国戦意分析課の主任として対日心理戦略 ズの関連文書や彼らが所属していたOWI(戦時情報局)やOSS ガンダの現在―WGIPの源流を探る』(宝島社)において、これらの が占領期に行ったこと』(致知出版社)『「日本を解体する」戦争プロ で次々に公開され、拙著『日本が二度と立ち上がれないようにアメリカ ルース・ベネディクトの文書が、英サセックス大学、米ヴァッサー大学 の基礎理論を構築したジェフリー・ゴーラーと(彼がその後任者にした) 今も生き私達を拘束し続けているのである。 モデルとなった「洗脳」の成果はユネスコ 供述書として受け継がれている事実に注目する必要がある。 界の記憶」に登録申請した南京虐殺について証言した戦犯日本兵千人の WGIPをリードしたブラッドフォード・スミスやボナー・フェ 「世界の記憶」文書として、 W G I P ラー

大学ナイト図書館のウッダード文書、スワースモア大学のミアーズ文書 議会図書館のミード文書、 ックス大学のゴーラー文書、 筆者が第一次史料の調査をしたのは、 コロンビア大学バトラー図書館の太平洋問題調査会文書、 ード大学フーバー研究所とマッカーサー記念館のフェラーズ文 米国立公文書館のOSS・OWI文書、 米ヴァッサー大学のベネディクト文書、 米英加の国立公文書館、 オレゴン 英サセ スタ 米

第一次史料に基づいて、

WGIPの思想的、

実践的源流について実証的

今日への影響についても言及した。

ブリティッシュ・コロンビア大学図書館である。ス文書、コーネル大学のティンパーリ関係文書、イェール大学図書館、館のウィリアムズ文書、UCLAチャールズ・ヤング研究図書館のスミのバンス・トルーマン文書、メリーランド州立大学マッケルディン図書ハーバード大学ホートン図書館のグルー文書、トルーマン大統領図書館

教育と今日への影響について考察したい。 モデルとなった野坂参三が陣頭指揮した中国の延安での日本兵捕虜洗脳 アシュモア・フィッチによってOWIに持ち込まれ、 大きな流れについて整理し、 対日心理作戦との連続性に注目し、 スミスが執筆した『太平洋戦争史』 本論文では、 (3) 「南京大虐殺プロパガンダ」がアメリカ人宣教師ジョージ・ これらの一次史料の研究成果を踏まえて、 (2)ボナー・フェラーズ文書に見る対日基本 に反映した経緯、 WGIPの策定に至る歴史的変遷の ブラッドフォード・ (4)WGIPの実践 (1)アメリ カの

## WGIP策定に至る経緯―対日心理作戦との連続性

2

ある。WGIPのモデルとなった。その意味で、両者を連続的に捉える必要が本兵捕虜洗脳教育がブラッドフォード・スミスに大きな影響を及ぼし、本兵捕虜洗脳教育がブラッドフォード・スミスに大きな影響を及ぼし、心理作戦にあり、同作戦が参考にした、中国の延安での野坂参三の日戦後のWGIPのアイデアや手法の源流は、戦時中のアメリカの対日

とめた日本打倒プラン「日本計画」を準備した。 口 英社会人類学者のジェフリー・ゴーラーの論文「日本人の性格構造とプ OCI) を創設し、 ij パガンダ」(注2)であった。 1941年7月 力 0) 情報・プロ e С o o r d i n a t o r 11 同年12月から翌年6月にかけて、 日にフランクリン・ルーズベル パガンダ機関として情報調査局 o f I n f o その土台になったのは、 対日心理戦略をま r m ト米大統領 O f f i は n T

とOSSに発展し、前者は「ホワイト・プロパガンダ」、すなわち「情1942年6月13日、大統領命令182に基づいて、OCIはOWI

を担当した。すなわち「情報が非公然で偽のメッセージ」を使った敵国への宣伝活動報源が明らかな広報的宣伝」を担当し、後者は「ブラック・プロパガンダ」、

た。この対日心理作戦とWGIPの連続性に注目する必要がある。OWIの対日心理作戦がCIEのWGIPに引き継がれることになっ領初期のCIEの主要幹部に登用されたことによって、戦前のOSS、低下させ、投降を促す目的で行った対日心理作戦の中心スタッフが占低下させ、投降を促す目的で行った対日心理作戦の中心スタッフが占ボージーとベネディクトを中心とする日本人の性格や行動パターンのゴーラーとベネディクトを中心とする日本人の性格や行動パターンの

(Amerasia)』に発表した(注3)。 WGIPをリードしたブラッドフォード・スミスはコロンビア大学卒 WGIPをリードしたブラッドフォード・スミスはコロンビア大学卒 WGIPをリードしたブラッドフォード・スミスはコロンビア大学卒

WGIPを陣頭指揮した。 一条の後、同年6月に創設されたOWIの中部太平洋作戦本部長に任 その後、同年6月に創設されたOWIの中部太平洋作戦本部長に任 との後、同年6月に創設されたOWIの中部太平洋作戦本部長に任

引き継ぐ役割を果たした。 心理作戦のプロたちをCIEの幹部に登用し、 主導し、 年6月に新設された心理作戦部 6月米太平洋陸軍司令官 1943年の同南西太平洋地域総司令部参謀第5部長となり、 方、 同年11月、 ボナー・フェラーズは1942年7月に088に配 同司令官 (マッカーサー) (マッカーサー) 軍事秘書官、 (PWB) の部長として対日心理作戦を 軍事秘書官に任命され、 対日心理戦略をCIEに 1945年 1 9 4 4 属さ 対日 れ

にCIE局長に就任)やブラッドフォード・スミスも参加したが、「ジてマニラで対日心理作戦会議を開催した。同会議にはケネス・ダイク(後フェラーズは1945年5月7日~8日に、心理作戦担当者を招集し

この専門家であった。 ップ」を連発するスミスと違って、 ダイクは日本人目線を重視する宣

たのである。 GHQの民間情報教育局 調整委員会 理 戦略は、 米情報調查局 国務省の戦後計画委員会(PWC)と国務 (SWNCC)  $\widehat{\underbrace{C}}_{O}$ C I E という対日占領政策の最高決定機関を経て、 からOSS、 に継承され、 OWI に 受け継が WGIPとして結実し ・陸・海軍3省 ħ た対 目心

背景には、 教育・再方向づけ」プログラムとなり、これが米国務省に受け継が OWIの日本人の ハル国務長官の日本の伝統精神に対する誤解があった。 「頭を切り替える」 心理作戦としての 「日本人の た 再

きないと考えた(注5)。 なければ、日本国民の伝統精神に根付いた軍国主義を排除することはで 点において、ドイツやイタリアとは異なる」と指摘し、ドイツのナチズ し、「再教育、再方向づけ」によって積極的に介入して心理的誘導をし ムやイタリアのファシズムとは異なる日本精神の特異な病的特性を強調 ハル国務長官は「日本の軍国主義は国民の伝統に基づいているという

ことが「占領軍の任務」 CIEに引き継がれて、 差す伝統的軍国主義」と捉えた思想的影響があったと思われる(注6)。 的特性」を「伝統的攻撃性(侵略性)」すなわち、日本人の「本性に根 D·C·ホルトムやゴーラー、ベネディクトらが日本人の国民精神の「病 委員会)文書が作成され、 ジ奨励」 この誤解の背景には、神道と軍国主義を混同したアメリカの神道学者 取組結成に至ったのである。その結果、 ハル国務長官のこの基本認識に立脚して、国務省のPWC 0) 「新聞、 するに至った。 「産みの親」といえる。 「反日日本人」が戦後の歴史学会や教育学界、 ラジオ、 このような誤解に基づく対日占領政策が 共産主義者を含む「自由主義者」が奨励され、 であるとして、労働組合が奨励され、これが 映画、 「超国家主義の影響の排除」「自由主義的勢力 学校を通して民主的考えを奨励する\_ 後述する 「歴史認識問題」の マスコミ界 (戦後計画 「反日

また、「イタリアとドイツでの失敗の分析」という報告書によれば、「積

向づけ」を狙う「精神的武装解除\_ SWNCCの「米国の初期の対日方針」に受け継がれ、 が失敗した原因と分析されており、 が策定されたのである。 の積極的で統合されたプログラムが必要と認識されるに至った。これが 極的で統合されたプログラムの事前の準備の欠如」が独伊の戦後の統 その教訓から「再教育・再方向づけ」 構想の最重要政策として、 「再教育、 W G I P

### ボナー・フェラーズ文書に見る対日基本心理作戦

3

和を求めることだということを順次思い起こさせることだ」「日本人の で、心理作戦の継続努力を地域的に拡大し、市民に死なないためには平 に知らせるビラや放送を実践すること。死者と壊滅状態が続いている 人は冷静に効果的に方向づけられる」としている(注7)。 行動パターンを知ることは心理作戦に有効だ。我々が広める情報に日 た対日基本心理作戦計画書によれば、「戦争についての真実を特定の人々 9 45年4月12日にフェラーズが南西太平洋陸軍総司令官に提

の3点を挙げている。 そして、「日本人の生活を再方向付け」するために、「結論」 として次

日本人を説得して士気を弱体化させる。

2

- 軍部に戦争責任を負わせる―①本国、戦場での無能力②戦争に関 部に国の災難の責任を負わせる⑥天皇と国民との間にくさびを打 して嘘を報道した③人種偏見を説いた④西洋人を誤解させた⑤軍
- メリカの慈悲に頼る⑤我々の条件に基づいて平和を求める 済するよう約束する③軍部を崩壊させ平和的政権を樹立する④ア 国民に次のことを啓発する―①自己救済②国に残されたものを救

3

作戦目的遂行に利用する。天皇を攻撃して国民の反感を持たせないよう 民を嘲笑したり、 具体的な 傷つけたりしない」「天皇を攻撃せず、 「心理作戦の方法論」 として 「軍部を嘲笑する。 適切な時期に 玉

にする」等の指針を示している(注9)。

士気を混乱させる」と指摘していることである。と、また前線で兵士が、家族が耐え忍んでいる貧困や苦難を知ることはみが分からない。前戦での苦悩の場面を兵士の本国の家族の場面に移すい。彼らの信仰の根源は親孝行である。兵士もその家族も他の人々の悩家と家族に対する執着」を挙げ、「日本人ほど家族の絆が強い民族はな同文書で興味深いのは、「日本人の行動パターン」の分析として、「国

の生涯の摂理となるであろう」と述べている。

の生涯の摂理となるであろう」と述べている。

である。祖先崇拝の教義に神道が組み込まれていることを知るには、なである。祖先崇拝の教義に神道が組み込まれていることを知るには、なである。祖先崇拝の教義に神道が組み込まれていることを知るには、なである。祖先崇拝の教義に神道が組み込まれていることを知るには、なである。祖先崇拝の教義に神道が組み込まれている。

は弁慶のように生まれ変わる」と述べ、以下のように結論づけている。日本兵でなくなり、第二の人生を求め別人になる。かくして我々の捕虜ない。日本兵は生きている限り敵に与しないが、任務を完遂できないとわ家来にもなるというのが日本の武士道である。忠誠を尽くし死もいとわ家来にもなる。牛若丸と弁慶の話が引用される。両者は敵同士であったが、られている。牛若丸と弁慶の話が引用される。両者は敵同士であったが、られている。牛若丸と弁慶の話が引用される。両者は敵同士であったが、られている。牛若丸と弁慶の話が引用される。両者は敵同士であったが、られている。

2500年にわたる国民の天皇崇拝を阻害してはならない。」(注10)を打倒するだろう。戦争を止めさせることのできる人物は唯一天皇だけである。天皇の命によって本土決戦を避けられる。これは完全に信任された勅命として発せられるのでなければ国民は信じない。天皇を殺害してた勅命として発せられるのでなければ国民は信じない。天皇を殺害してた勅命として発せられるのでなければ国民は信じない。天皇を殺害して大教命として発せられるのでなければ国民は信じない。天皇を殺害してはならない。」(注10)を担いる。「我々が陸軍空軍壊滅と惨めな状態を示す真実を告げたビラを投じる。

すべきでないという電報に決定的な影響を与えたのがフェラーズであっ

マッカーサーが1946年1月25日にワシントンに送った天皇を処刑

国民の間にくさびを打つという彼の考えが基本方針となった。た。「軍国主義者」と「国民」を区別し、天皇を利用しながら、天皇と

# フィッチがOWIに持ち込んだフィルム―『太平洋戦争史』への影響

4

いる点が注目される(注11)。 という言葉が繰り返されて 2つの論文で、3回「レイプ・オブ・南京」という言葉が繰り返されて 2つの論文で、3回「レイプ・オブ・南京」という言葉が繰り返された の接点は一体どこにあったのか。前述した『太平洋戦争史』における「南京大の接点は一体どこにあったのが「南京における悪虐行為」であった。 ところで、ブラッドフォード・スミスが執筆し、責任編集した『太

ジ・アシュモア・フィッチであった。裁判に口述書のみを提出した中国生まれのアメリカ人宣教師のジョーる。同書を実際に執筆したのは南京大学のマイナー・ベイツ教授と東京宣伝部が編集制作したプロパガンダ本であることが明らかになってい 米コーネル大学図書館所蔵の極秘文書等により、同書が中国国民党の

おり、 日後に 覧するしかない。 版をめぐる、 事件資料集Ⅱ 1992年に出版された同書は絶版で古本屋にもないため、 その中に前述した、接点に 「南京大虐殺」を報じたアメリカの記事や 『戦争とは何か』の内容を裏付ける南京事件調査研究会編 ティンパーリ特派員とベイツ教授の往復書簡も収められ アメリカ関係資料編』 同往復書簡で注目されるのは、 をうかがわせる記述が含まれている。 (青木書店) 以下の記述である。 『戦争とは何か』 には、 南京陥落 図書館で閲 の 南 3

から米国務省次官のスタンレー・ホーンベック博士への書簡 するため若干のタイトルを挿入したこと…このフィルムは絶対に見逃 するため、手紙を書いています。 のフィルムの余計な箇所をカットすること、説明なしで分かるように フィルムはジョン・マギー牧師の撮ったものです。…私の役割は、こ 〈ジョージ・フィッチの渡米と記録フィルムについて〉ティン 日本の占領前、 占領中、 占領後の南京を撮影したフィルムを説明 …内輪にしてほしいのですが、この パ

::ハル アメリカ人の活動を容易にするのも、 果はてきめんだと思うのです。中国人への同情が喚起されて、 持つようになるでしょう。」 うし、もしかすると、 誰しも、 にかかっていることが分かるのだから。 カ人をできるだけもちこたえさせるのも、すべてアメリカ政府の行動 国務省の役人や上院議員などに、この話をするよう進言しました。 ています。ジョージに直ちにアメリカに行ってもらい、ワシントンで は、次のように書かれている。「ジョージ・フィッチが持参したマギ さらに、ティンパーリからベイツ宛の1938年2月4日付書簡 彼のワシントン行きは、 素晴らしいフィルムを一見してから、ここ2、3日、妙案を考え (国務長官一引用者注) あなた方が重要な役割を担っていることが分かるはずです。 大統領とも会うようなことになるかもしれませ (注 13 将来アメリカの中国政策に重大な意義を からはきっと会見を申し込まれるだろ また南京以外の地にいるアメリ マギーのフィルムを見れば、 南京の 効

では実際に、 フィッチがマギー牧師の撮影した16ミリフィルムをア

> によれば、 メリカに持ち込んだのは 次の通りである。 一体いつか。 フィッチの著書『中国での 80年

] IJ

(フィッチの南京事件についての講演旅行)

引用者、 時情報局、 ブの客となり、 を受けた。4月18日、 サンゼルスを訪れ、「2、3の講演」を行い、「フィルムを見せたところ、 ー・スティムソン大佐らであった。 た者がでた。…オーエン・ラティモアその他から多くのインタビュ かなりセンセーションを引き起こし、 フィッチは1938年3月にホノルル経由でサンフランシスコ、 国務省次官のスタンレー・ホーンベック博士のコスモス・クラ 注 14 新聞記者やその他に、 多くの要人に会う機会を与えられた。それは、 私の主要な訪問先であるワシントンに着く。 持参のフィルムを見せた。」 私はさらに下院の外交委員会、 聴衆の何人かに気分が悪くなっ ヘンリ

会のメンバーです。」(注12

アメリカに向かうと聞けば、 しい画像で見せてくれます。

南京の中国民衆を救済するため果敢に闘っている国際救済委員

興味がわくでしょう。

彼はYMCAの人

ジョージ・フィッチがまもなく飛行機で

せません。日本軍が中国の首都を占領した時の恐ろしい後日談を、生々

物である。 であり、 ンシスコ局長を務めた親中派の共産主義者(参謀第二部の報告書による) の私的顧問を務めるために中国の重慶に行き、翌年から〇WIサンフラ 刊誌『パシフィック・アフェアーズ』を責任編集、 アメリカの中国学者で太平洋問題調査会の中心メンバーを長年務め、 中 国 におけるルーズベルト大統領の私設大使オーエン・ラティモアは ヘンリー・スティムソンは米陸軍長官、 国務長官を歴任した人 1941年に蒋介石

には、 がマギー がいらっしゃるでしょう」と証言 フィッチ婦人は1939年7月の米下院外交委員会で、 南京の略奪 撮影フィルムを指すことは明らかである。 s a c k に関する私の夫の動画をご覧になった方 (注15) しているが、 「私の夫の動画 「皆様方の中

を核とする) 心理戦略、 フィッチが直接OWIにフィルムを持ち込んだことが、 並びにそれを継承したCIEの WGIPに発展したことは明らかであろう。ちなみに、 (「南京大虐殺プロパガンダ」 O W I 対

「レイプ・オブ・南京」が登場する理由と推察される(注16)。たことが、前述したブラッドフォード・スミスの2つの論文に繰り返しィッチのアメリカでのこの講演が「レイプ・オブ・南京」をテーマにし

ってる。同フィルムとその説明文等がいかにスミスに大きな影響を与えたかが伺同フィルムとその説明文等がいかにスミスに大きな影響を与えたかが伺支事変」において彼が最重要視した「南京虐殺」について詳述しており、務省がまとめた『平和と戦争』の転載が多く、スミスが執筆した第7章「日本スミスが執筆した『太平洋戦争史』の前半部分は、1942年に米国

### 5 WG-Pの実践モデルと今日への影響

いた。 いに、WGIPのモデルとなった日本兵捕虜洗脳教育とスミスとの接 が調査した個人ファイルの「共産主義者と共感者」というカテゴ すーに分類された「ノーマン・ファイル」のトップシークレットの機密 リーに分類された「ノーマン・ファイル」のトップシークレットの機密 すーの信任の厚かったハーバート・ノーマンは共産主義者としてマーク 長として出向し、マッカーサーと昭和天皇との会見に同席し、マッカー 長として出向し、マッカーサーと昭和天皇との会見に同席し、マッカー 長として出向し、マッカーサーと昭和天皇との会見に同席し、マッカー でいたことが、コミンテルン本部との暗号通信の解読によって判明 というカテゴ ないに、WGIPのモデルとなった日本兵捕虜洗脳教育とスミスとの接 とい。

資料をカナダ経由で郵送することを約束する手紙のコピーが発見されと深い関係にある太平洋問題調査会(IPR)の職員に、共産主義者の長のチャールズ・ウィロビーの調査によって、ノーマンがコミンテルンまた、GHQで治安・情報を担当する参謀第二部並びに民間諜報部部

ーエン・ラティモアも共産主義者であった。 ィリアム・L・ホランド局長はIPRの手先で、フィッチが面会したオによれば、IPRは共産党員とそのシンパの支配下にあり、OWIのウた。ちなみに、ウィロビーの『GHQ 知られざる諜報戦』(山川出版社)

るものである」と明記している。 後の数章も含めて、多くの実例の通り、 冒頭に「この物語の人物は、 虜洗脳教育をモデルとして、『武器うるはし』 (注19)という小説を書き、 にも送られていた。スミスはこの野坂が陣頭指揮した延安での日本兵捕 野坂参三がOWIに定期的に送っていた「延安リポート」 (岩波書店) によれば、 山 本武利編訳 『延安リポート―アメリカ戦時情報局の対日軍事工 中国の延安で日本兵捕虜洗脳教育を行っていた 架空のものであるが、 中国で実際に起こった事実によ 状況は、この書の最 は直接スミス 作

案し、OSSから多くの日系人が野坂の下に送り込まれた。ップル・プロジェクト」という対日工作員を送り込む計画をOSSに提徹底的に調査し実行に移した。野坂は中国共産党の後押しによって、「アアメリカは対日心理作戦における「洗脳」のアイデアと手法を延安で

化がそこに生ずるだろう」と述べている(注20)。 敗戦意識を抱くようになれば、捕虜が経験したのと同じような心理的変成功は…次のような結論をさらに強めた。それは、ひとたび日本国民がエマーソンは『嵐の中の外交官』において、「岡野とそのグループの

英国立公文書館所蔵のマッカーサーの政治顧問付補佐官・ジョン・

マー 緒させていただいた。 本兵捕虜洗脳教育にあったことが判明した。 WGIPの実践的モデルは -からエマーソンとはスタンフォード大学フーバー研究所で2年間御 ソン証言 「軍国主義者」という共通の敵の打倒を目指す延安での日 (1957年3月12日の米上院国内治安委員会)により、 「軍国主義者」と「国民」という架空の対立 ちなみに、 筆者は1981

情があった。 平洋戦争史』を歴史教育に導入し、 至った背景には、 「本国民に植え付けるために共産主義者らを徹底的に利用したという事 『底した情報操作(コントロール)が行われたことである。 太平洋戦争史観が戦後日本の教育界とマスコミ界に内在化されるに WGIPの今日への影響という点で注目されるの 占領初期にWGIPの目的である 東京裁判報道に対するメディアへの 「戦争贖罪意識 東京裁判史 は、 太 を

行為を知らず、 た。彼らは日本を戦争に導いた歩み、 GHQ 月報 日本人の間に戦争贖罪意識は全くといっていいほど存在しなか 道徳的過失の感情はほとんどなかった。」(注21 (1945年10月~11月) によれば、 敗北の原因、 「占領軍が東京入り 兵士の犯した残虐

加藤勘十等を挙げ、 月で10人近い共産主義者を出演させ、 や羽仁五郎と密談を重ねた。ノーマンとエマーソンが府中刑務所に出向 を理解させるために共産主義者らを活用し、 情報宣伝計画」であるWGIPが策定され、その中核に「南京大虐殺プ 浮き彫りにしている。 :って中止された。この事実はいかにスミスが共産主義者を偏重したか 一共産党関係者で、 パガンダ」が位置付けられたのである。CIEは日本国民に「戦争犯罪 ラジオの それ故に、「戦争についての罪悪感を日本人の心に植え付けるための 共産主義者の政治犯らを釈放した。そして、ラジオの座談会に一か 友好的な自由主義者として、 「出獄者に聞く」に出演したのは、 共産党の宣伝番組と化していたが、 CIEは彼らを積極的に活用した。 1945年7月に作成された対日心理作戦報告 宮本顕治、 野坂参三、 延安から帰国した野坂参三 全員が政治犯から選ばれ 志賀義雄らを登用した。 加藤シズエ、 スミスの帰国に そして徹底的に 鹿地亘

> が戦後のマスコミ界に深刻な影響を及ぼした。 情報を操作したWGIPによる『閉ざされた言語空間』 (注 22 0) 影

者協議会」 本側の中心人物であった三島一が委員長に就任して、 占領政策の転換により、 下に作る準備を進めた。 30分で全12回のラジオ番組 歴史学研究会\_ また、GHQの進駐開始と同時に、CIEは1933年に創設 が昭和24年に創設されたのである のメンバーと接触し、『真相はこうだ』とは別に、 しかし、「日本民主化政策は行き過ぎ」という 同番組は中止となり、 『日本人民の歴史』をCIE教育課の指導の (注 23)。 『日本人民の歴史』 左派の 「歴史教育 いされ 0) 口  $\exists$ 

ある。 学歴史教科書の近代史の扉の頁に掲載された反日義兵運動に立ち上がる 剣を持って立っている絵(タイトルは「アジア支配を夢見る日本」) 朝鮮人の写真と、軍服を着た昭和天皇が地球の上に乗って血のしたたる 書の扉の頁に掲載された朝鮮の独立を喜ぶ人々の写真と、大阪書籍の中 なった。そのことを象徴的に示しているのが、日本書籍の中学歴史教科 が国の反日歴史教科書のベースとなり、戦後の 戦争史観とコミンテルン史観 協力して日米合作の「日本歴史の書き換え」を目指したことが、 CIEの指導の下に共産党と不即不離の関係にあった歴史学研 (マルクス主義史観) 「反日日本人」の温床と の癒着した戦後の我 で

援し利用した共産主義者の 捉えるコミンテルン史観の反映であり、GHQが占領当初に積極的に支 これらの写真や絵は、 明治の天皇制絶対主義国家が侵略戦争の原因と 「反日自虐史観」の代表例といえる。

ちに、 保障するため、 とは極めて示唆的である。「今は世を忍んでいる自由主義的な指導者た スミスの論文「日本―美と獣」 過去の原始的な怪獣が決して再び台頭しないよう建設する機会を 私たちに何ができるであろうか。」 が、次の一文でしめくくられているこ

本精神』 高く評価した。 た」ことに注目し、 「自由主義的な指導者たち」とは一体誰のことなのか。スミスの は、 昭 同選挙でトップ当選した労働運動家の加藤勘十 和11年の総選挙で「リベラル派が466議席を獲得して 「命がけで軍部と闘ってきた」自由主義者たちを 芦 論文『日 一田内

亘等の社会党・共産党幹部たちを意味していた。閣の労働大臣)をはじめとする、同婦人の加藤シズエ、野坂参三、鹿地

動家等と連携したことが、 等を積極的にWGIPの担い手として活用、 1990年代に国際問題化した教科書問題、 会主義者を核とする歴史研究者・教育者や労働組合の指導者や反戦活 問題をめぐる「歴史認識問題」 はらと密議を重ねて日教組の設立に積極的に関与し、 スミスはこの論文通りに野坂参三や鹿地亘らを中心とする共産主義者 戦後の (注25)に発展したといえる。 「反日的」 首相の靖国参拝問題、 歴史教育の土壌を形成し、 支援し、 共産主義者、 CIEが羽仁五 慰安 社

婦をめぐる論争も全く同じである。 式に日本に持ち込んで騒ぎ立てた点が共通している。近年の日本軍慰安いずれの問題も「反日日本人」が国際的に火を付けて、マッチポンプ

発表し、世界に発信した。 本軍『慰安婦』問題についての不当な見解を批判する」と題する声明を本軍『慰安婦』問題についての不当な見解を批判する」と題する声明を平成26年10月に歴史学研究会が、「政府首脳と一部メディアによる日

た(主治)。明を出し、5月15日に日本の歴史学会・歴史教育者団体が声明を発表し明を出し、5月15日に日本の歴史学会・歴史教育者団体が声明を発表しとする187人の日本研究者が「日本の歴史家を支持する」と題する声とする187人の米歴史学者が、5月には欧米を中心これを受けて、翌年2月に19人の米歴史学者が、5月には欧米を中心

シナにおける振る舞いは女性に対する残忍な攻撃である」として、「レる侮蔑的な表現や偏見が目立ち、「私たちに最も衝撃を与えた日本軍のスミス論文『日本精神』『日本―美と獣』は日本人や日本文化に対す

と述べている。とすず事記神話にあり、国生み神話の信仰こそ「危険な爆薬と判明した」とす古事記神話にあり、国生み神話の信仰こそ「危険な爆薬と判明した」イプ・オブ・南京の背景」「残虐行為の起源」は、わが子の首を打ち落

と明記しているが、誤解も甚だしい。
ルーツは深く母国の温床に根差している」「日本精神は時代錯誤である」「日本はヒトラーが台頭する遥か以前からファシスト体制にあり、その慣にあり、「祖先が習慣としてきた戦闘法への先祖返りでしかなかった」また、南京大虐殺の起源は忠臣蔵に代表されるハラキリ、首狩りの習また、南京大虐殺の起源は忠臣蔵に代表されるハラキリ、首狩りの習

は正義ではない。明らかにリンチだ」と批判した。日本精神の本質を軍国主義と誤解するスミスの考えが共有されて日本精神の本質を軍国主義と誤解するスミスの考えが共有されて

日本人が伝統的に軍国主義者・侵略主義者であったという事実認識は日本人が伝統的に軍国主義者・侵略主義者であったのかを改めて問い直立必要がある。

脱却が求められている。 らない。アメリカの対日心理作戦を継承したWGIPの「洗脳」からの来の伝統的な国民精神を取り戻し、WGIP後遺症を払拭しなければな来の伝統的な国民精神を取り戻し、WGIP後遺症を払拭しなければな戦後73年を経た今日、「軍国主義」とは明確に区別すべき、我が国本

### 6 おわりに

もの間日本社会を呪縛し続けているというWGIP論」は「心理学の知WGIPは「客観的に裏付けられていない」とか「洗脳の効果が70年

見に反している」 領政策となって、 国主義」と日本の伝統精神を混同した「精神的武装解除」 1.対する根本的誤解が対日心理作戦のベースとなり、 「超国家主義」 「軍 て客観的に裏付けられる。 ーラー、 限られており、 ベネディクト、 CIEのWGIPに継承されたことは第一次史料によ ウォー・ギルトに関する言葉の使い方も多様であるが 等の批判があるが、 スミスらに共通してみられる日本の伝統精神 WGIPと明記された第一次史料 構想が対日占

たしていることを示している。 脳教育が今日の「南京大虐殺プロパガンダ」においても重要な役割を果 ネスコー ことも明らかである。 人の供述書」であったことは、 連行」文書 南京大虐殺プロパガンダ」 中国がユネスコの求めに応じて追加申請したのは「戦犯日本兵千 「世界の記憶」に登録申請された「南京大虐殺」 (注29)を強力に後押ししている「反日日本人」の存在で 「今日への影響」 がWGIPの一環として利用されてきた WGIPのモデルとなった日本兵捕虜洗 を雄弁に物語っているのが、 と「慰安婦の強 ユ

たのである。 帰連」)を結成して、 に対して実行され、 延安で練り上げられた「洗脳教育」 撫順から帰国した日本人が中国帰還者連絡会(「中 「南京大虐殺」 等の日本兵の残虐行為の証言を行 は、 撫順戦犯管理所で日本人捕虜

たちの前で謝罪せよ」と題した、元慰安婦が日の丸の国旗をナイフで突 資料的にも強力に後押ししている事実が明らかになった。 申請文書の参考文献の多くを「反日日本人」研究者が占め、理論的にも されている。 木に縛り付けて、3丁のピストルを突き付けている絵 第二歴史館 (の説明文に明示されている)したものである点に注目する必要がある。 |の家||に展示されている写真の大半は「反日日本人」研究者らが提供(写 た元慰安婦10人の作品が269点保存されており、 ちなみに、 また、ユネスコ「世界の記憶」に登録申請された「日本軍『慰安婦の声 「ナヌムの家」 その中には、 「記憶と記録の場」に展示されており、 一には、 「責任者を処罰しろ」と題した、 ユネスコ 「世界の記憶」に登録申請 絵葉書として販売 その中の25点の絵 (資料①) 韓国の「ナヌ 昭和天皇を や、「私

> き刺し、 (資料(2)) したたり落ちる血が土下座している昭和天皇の上に注がれる絵 などが含まれている。



資料①



資料②

あることは明らかである。活用したCIEの占領教育政策とその中核的役割を果たしたWGIPで活用したCIEの占領教育政策とその中核的役割を果たしたWGIPで共産主義者、「歴史学研究会」、労働組合の幹部、反戦活動家などを支援、この「反日日本人」研究者・マスコミ・運動家を生み出した淵源が、この「反日日本人」研究者・マスコミ・運動家を生み出した淵源が、

先送りする制度改善を主導し、「道義国家日本」の歴史戦が展開されつ先送りする制度改善を主導し、「道義国家日本」の歴史戦が展開されつ「日本軍『慰安婦の声』」登録申請文書についても、対立案件についてはては事実に踏み込んで反論をするようになり、ユネスコ「世界の記憶」安倍政権下において日本の外務省は「慰安婦の強制連行」問題につい

一つにして道義の確立に力を尽くさんことを念願する」と提示した。開き、世界の平和に貢献する」「独善に陥ることなく…われわれは心を正大なる精神に生きなければならない」「他の諸国家との和協への道を正教の精神」を強調し、「自国だけの利害にとらわれることなく、公明昭和26年に天野貞祐文相が提唱した『国民実践要領』は、「和の精神」

価値を探求するという考え方が含まれている。認める「寛容さ」にとどまらず、「対話」を通して、共有可能な新たな強調された。「通底する価値」とは一体何か。文化や価値観の多様性を底の価値」で、「異なる文明に通底する価値」を見出すことの必要性が底の価値」で、「異なる文明に通底する価値」を見出すことの必要性が

長を補佐してきた服部英二氏は、「『誠を尽くす』が唯一世界で通用する」な場としての『道』」の文化の意義が確認された。長年ユネスコ事務局和することを意味」し、「対話とは変容」であり、「対話のための理想的同シンポの「最終公式声明」では、「和して同ぜず」の和の精神は「調

史戦」には問われているのではないか。け橋をかけることができるかが、グローバル時代の「道義国家日本の歴と説くが、自他共に「変容する」対話を通して、「通底する道理」の架

いる。 年5月21日) 地裁判決書 り返る」『亜細亜法学』第52巻第2号、2018を是非お読みいただき ない」に改めたことに言及しつつ、東中野氏は次のように締めくくって 成果というに値しないと言って過言ではない」(傍線は引用者)という てきた東中野修道「不覚の『南京占領』 たい。同論文は「およそ妥当とは言い難い地裁判決文の削除」と題して、 東中野の原資料の解説はおよそ妥当なものとは言い難く、 最後に、「南京大虐殺」プロパガンダに関する先駆的研究を積 (平成19年11月2日) が命じ、「不合理であって、妥当なものということができ の傍線部分の削除を高裁判決 研究―法廷論争を十年ぶりに振 学問研究の 平成 み 重

の研究成果を決して無にしてはならない。 生涯をかけた東中野修道氏の無念の思いが胸を打つ。私たちは東中野氏「南京占領」研究に30年間没頭し、第一次史料に基づく実証的研究に

### 注

- 者としてマークされていたことが判明した。
- ネルヴァ書房、2011年 ジェフリー・ゴーラー著、 福井七子訳『日本人の性格構造とプロパガンダ』ミ 電
- 3 細亜法学』第49巻第2号、2015年 東中野修道編訳「資料 ブラッドフォード・スミスの『レイプ・オブ・南京』
- 社会科学』91号、2010年、同「同(後編)」同101号、2012年も参照 平洋戦争史』の比較調査―占領初期の新聞連載とその役割について(前編)『評論・ 中屋健二訳『太平洋戦争史』高山書院、1946年。三井愛子「新聞連載『太
- 5 拙稿「GHQによる占領政策」『敗戦後遺症を乗り越えて』扶桑社、2015
- 知出版社、2014年 拙著『日本が二度と立ち上がれないようにアメリカが占領期に行ったこと』 致
- Bearing Upon the Problem. フェラーズ文書 MMA23 R4 Implementation of the Basic Military Plan for Psychological Warfare II Facts Basic Military Psychological Warfare Against Japan, 12 April 1945. P.4
- Planning,12 April 1945.フェラーズ文書、 Basic Military Plan for Psychological Warfare Against Japan Step in
- Manila,7-8 May 1945. 回 and Minutes of the Conference On Psychological Warfare Against Japan. Basic Military Plan for Psychological Warfare Against Japan With Appendices
- 東中野前掲論文、127頁
- 1992年、344頁 南京事件調査研究会編『南京事件資料集Ⅱ アメリカ関係資料編』青木書店、
- 同354頁
- 19 18 17 16 15 14 13 同349頁
  - 東中野前掲論文、 1 3 2 頁
  - 東中野前掲論文、 1 2 7 頁
  - 注(1)参照 同、128頁
- 1949年 ブラッドフォー ド・スミス著、 岡本成蹊訳『武器はうるはし』文章社、
- 1979年、160頁。岡野は野坂参三の別名 ジョン・エマーソン著、宮地健次郎訳『嵐のなかの外交官』朝日新聞
- 拙著『検証戦後教育』モラロジー研究所、1995年、8頁
- 1994年、斎藤禎『江藤淳の言い分』書籍工房早山、2015年も参照されたい 江藤淳 『閉ざされた言語空間-占領軍の検閲と戦後日本』 文春文庫、文藝春秋、
- 高橋史朗前揭論文参照
- 東中野前掲論文、159頁

- 題研究会)として、年二回発行。 認識問題研究会」を開催し、その研究成果を『歴史認識問題研究』(歴史認識問 モラロジー研究所に「歴史研究室」(西岡力室長)が創設され、月例の「歴史
- 宝島社、2016年、第4章「日米の歴史家たちによる論争とその論点」参照 拙著『「日本を解体する」戦争プロパガンダの現在―WGIPの源流を探る』
- りの経緯と今後の課題」同第2号、同、2018年参照 創刊号、歴史認識問題研究会、2017年並びに拙稿「報告 拙稿「ユネスコ『世界の記憶』の最新動向に関する一考察」『歴史認識問題研究』 慰安婦登録・見送
- 年10月号、新潮社参照 拙稿「戦後50年に現われたマッカーサーに封印された本」『新潮45』1995

28

27

26

25

- 並びに、「中国人慰安婦基礎調査」(英訳版)参照 朝日新聞「慰安婦報道」に対する独立検証委員会報告書(2015年2月19日)
- 「亜細亜法学』第52巻第2号、2018年、256-257頁 東中野修道「論説 不覚の『南京占領』研究―法廷論争を十年ぶりに振り返る」

30